

### 科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会において 「科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について(これまでの審議のまとめ)」を とりまとめ

科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会では、これまでも我が国の学術研究の振興のために望ましい研究費の在り方について議論が行われ、研究者にとって効果的に使える科研費を目指した各種制度改善が進められてきました。

平成21年3月に審議を開始した第5期の研究費部会(部会長:有川節夫九州大学総長)においても、科研費の一層の改善、充実を図るため、主に、①今後の科研費が目指すべき方向性(目標や対象、規模など)について、②科研費による若手研究者への支援の在り方について、③今後の「基盤研究」の在り方について、④科研費の研究成果を社会に還元していくための方策等について、審議が重ねられました。これらの事項のうち、平成22年度に向けて当面講ずべき措置として議論がまとまったものについて、平成21年7月16日に「科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について(これまでの審議のまとめ)」としてとりまとめられています。

今後、本とりまとめに基づいて、科研費の制度改善等を実施していく予定です。

〔掲載ホームページアドレス〕

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/gaiyou/1283490.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/gaiyou/1283490.htm)

### 平成22年度科学研究補助金を公募

平成22年度の科学研究補助金について募集を開始しました。

公募内容、応募手続きについては、それぞれの公募要領をご覧ください。

＜平成22年度の主な変更点＞

- 「若手研究(S・A・B)」について、「研究計画最終年度前年度応募」を導入しました。
- 「若手研究(S・A・B)」について、「受給回数制限」を導入しました。
- 「系・分野・分科・細目表」を一部変更しました。
- 重複制限の取扱いを一部変更しました。
- 「日本学術振興会科学研究費補助金事業電子申請システム」へのアクセスに「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」を活用することになりました。
- 「若手研究(スタートアップ)」の名称と応募資格を変更する予定です。

【公募要領等説明会の実施】

平成22年度科学研究費補助金への応募に当たっての変更点・留意点等について、各研究機関の事務担当者・研究者に周知するため、「平成22年度科学研究費補助金公募要領等説明会」を開催しました。平成21年9月14日(月)から18日(金)にかけて、北海道から九州に至る全国8ブロックにおいて実施し、約1,350機関から約3,200名の参加がありました。また、この説明会では、公募要領等の説明に加えて、科学研究費補助金をめぐる最近の状況、不正使用の防止等についての説明を行いました。

(説明会資料等については、文部科学省及び日本学術振興会の科学研究費補助金ホームページで御覧いただけます。)

〔掲載ホームページアドレス〕

- 文部科学省科学研究費補助金ホームページ  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/main5\\_a5.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm)
- 日本学術振興会科学研究費補助金ホームページ  
<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>

### 平成21年度科学研究費補助金の審査に係る総括について

平成21年6月16日の日本学術振興会科学研究費委員会において、平成21年度科学研究費補助金の審査に係る総括がとりまとめられ、審査作業の特徴、主な制度改善、研究種目別の応募・採択状況などについて、ホームページで公表しています。

〔掲載ホームページアドレス〕

[http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html#shinsa](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html#shinsa)